

川口が映画に染まる夏の祭典

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018

7/13(金)～22(日) 会場:SKIPシティ/MOVIX川口(7/13(金)～21(土))

開催15周年を迎えるSKIPシティ国際Dシネマ映画祭。今年は4月の川口市核市移行を記念し、川口市を舞台にした映画をオープニング作品として上映するほか、15周年にふさわしい企画が盛りだくさんです。皆さまの来場をお待ちしています。



SKIP CITY



INTERNATIONAL
D-CINEMA
FESTIVAL

映 映像ホール 多 多目的ホール M MOVIX川口 1 製作年 2 製作国・地域 3 分数 4 監督

オープニング上映

今年のオープニングは、日本人男性で初めて世界6大マラソンを走破した古市武さん（川口市在住）の生き様に触発され、人生と向き合う人々を描いた『君がまた走り出すとき』をプレミア上映。監督は、本映画祭に過去2度ノミネート経験もある新鋭、中泉裕矢。本映画祭の15周年記念作品として、地元川口市が製作し、市内各所で撮影、市民も多数参加した映画をお届けします。

君がまた走り出すとき

映 7.13(金) 14:00※ M 7.13(金) 21:00 M 7.14(土) 21:00

もう逃げない、この人生<レース>
川口に住む、ある市民ランナーの実話が導く再生ストーリー



©2018 川口市

- 2018年／日本 ● 監督：中泉裕矢
- 出演：寛 一郎 山下リオ 菜葉菜 辻本祐樹 網島恵里香 安居剣一郎・長谷川初範 浅田美代子・松原智恵子
- 製作：川口市
- 特別協力：埼玉県／SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ

訳あって、犯罪に手を染めてしまった翔太。警察に追われ逃げ込んだ民家で、老婦人・多笑から「お帰りなさい」と家に招かれ、成り行きでそこに住むことに。多笑の孫・佳織が訪ねてきた日の晩、ラジオからある市民ランナーの話題が聞こえ、翔太は佳織からマラソン大会参加をけしかけられる。

監督：中泉裕矢

1979年生まれ、茨城県出身。2011年から映像製作に携わり、自身が監督した短編映画『母との旅』(13)、『エンドロールを撮りに』(14)が国内映画祭にてグランプリ5冠、観客賞8冠を達成。2015年12月公開の初商業映画『4/猫〜ホテル菜の花〜』にてテアトル新宿など、全国公開を果たす。現在はテレビ東京『ガイアの夜明け』の演出を担当。



※オープニングセレモニー後に上映

国際コンペティション (60分以上) 全10作品を上映

ダーリンの憂い

多 7.15(日) 14:00 M 7.18(水) 18:30 映 7.19(木) 11:00



©Zentropa Production

怪我で公演を降りたバレエ団のプリマドンナ。今、女たちのドラマが幕を開ける。

世界的バレエのダーリンは、「ジゼル」のリハ中に怪我をして降板することに。彼女は代役のボーリーの指導役を買って出るが、若いボーリーの成長ぶりを目の当たりにして、徐々に精神が不安定になっていく。

1 2017年 2 デンマーク、スウェーデン 3 101分
4 ビアキッテ・スターモス

プリス、マイ・スウィート・ホーム

多 7.14(土) 17:00 M 7.17(火) 18:30 映 7.18(水) 14:30



©PanawanStudio

大学は出たけれど、僕にはお金がない…。現代風刺セルフ・ドキュメンタリー。

監督のナウは、大学卒業後も故郷に戻らず、マルコス政権時代に建てられた「プリス」と呼ばれる集合住宅に暮らしている。都会の自由を捨てられない彼の元に、母から実家に戻ってこないかとの連絡が入る。

1 2017年 2 フィリピン、韓国 3 74分
4 ナウルズ・バギドボン

最後の息子

映 7.15(日) 11:00 M 7.17(火) 20:30 多 7.18(水) 17:00



© an ATO production

息子の命と引き換えに救われた少年。両親にとって、彼の存在は希望か絶望か？

インテリアデザイン業を営むスン Chol と ミスク。彼らの息子は、溺れていた友人キヒョンを助けて亡くなっていた。ある日、いじめられているキヒョンを目撃したスン Chol は、彼を自分の会社に雇い入れる。

1 2017年 2 韓国 3 124分 4 シン・ドンソク

15周年特別企画

名匠たちの軌跡(入場無料)



©2003/パナソニック・フィルム社/アスミック・エース(株)

日本が世界に誇る黒澤明。台湾ニューシネマを代表する侯孝賢とエドワード・ヤン。そして二度のカンヌ映画祭最高賞パルム・ドールを受賞するミハエル・ハネケ。世界の巨匠監督たちを追ったドキュメンタリーを通して、「映画監督」について考察します。

飛翔する監督たち from SAITAMA



©2017映画「夜空はいつでも最高密度の青色だ」製作委員会

SKIPシティをはじめ、映像産業の振興に注力する埼玉県。現在、日本映画界の第一線では、そんな埼玉出身の監督が多く活躍しています。今回は石井裕也、入江悠、沖田修一、吉田恵輔の4人にスポットを当て、彼らの話題作を特集上映！地元の声援で日本映画を盛り上げよう！

「怪盗グルーシリーズ」一挙上映 (日本語吹替版)



© 2016 Universal Studios. All Rights Reserved.

子どもから大人まで幅広く絶大な支持を得る大人気キャラクター、ミニオンズ。今年は、15周年を記念して「怪盗グルーシリーズ」をまとめて上映します。7月の3連休はご家族揃って、キュートなミニオンズに泣いて笑って、夏の思い出を作りませんか？



他にも昨年に引き続き、海外の映画祭でも注目を集めているVR(ヴァーチャル・リアリティ)作品の上映、家族で楽しめる「野外映画」、赤ちゃん連れでも気軽に映画鑑賞可能な「ママ・シアター」など、見逃せない企画が盛りだくさん！詳細は、市内各所で配布中の「上映スケジュール」または映画祭公式ホームページでご確認ください。 ※期間中、臨時保育サービスあり(事前予約制・有料)

お得な前売り券絶賛発売中!!

お買い求めは…セブンチケット／ファミリーマート／チケットぴあのお店／SKIPマート(SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ1F)

7/12(木)まで

国内コンペティション

長編 全4作品
短編 全9作品 を上映

長編部門(60分以上)

あの群青の向こうへ

多 7.15(日) 17:00 映 7.17(火) 14:30



もし未来の自分から手紙が届いたら？若手実力派俳優共演による青春映画。

未来の自分から一通の手紙「ブルーメール」を受け取るようになった世界。些細なきっかけから出会った青年力ガリと家出少女ユキは、共に東京を目指す。次々に互いの過去や秘密が浮き彫りになっていく。

1 2018年 2 日本 3 96分 4 廣賢一郎

短編部門(15分以上60分未満) ※3作品ごとに上映

Birth-おどるいのち-

多 7.16(祝) 10:30 映 7.19(木) 14:30



©CHILD POKKE

みんなドキドキ。出産をテーマに3人の作家が描いたオムニバス作品。

「Birth-つむぐいのち」に続き、出産を題材にしたドキュメンタリー・アニメーションの第二弾。本作では、外国で出産する母親、妻の初産に戸惑う夫、弟の誕生を待ちわびる娘、と三者三様の視点で映像化している。

1 2017年 2 日本 3 28分
4 若見ありさ、池田耀発郎、大橋弘典

〈PRESENT〉コンペ作品1回券を20組40人にプレゼント!!

※国際・国内(長編・短編部門)コンペの上映作品の中から、希望の1プログラムを鑑賞できます。(自由席/定員・入替制)

7月9日(月)(必着)までに、はがき裏面に「映画祭チケット希望」と明記し、住所、氏名、年齢を記入の上、下記映画祭事務局「広報かわぐち・チケットプレゼント係」へ郵送。

バリアフリー上映

(日本語字幕+音声ガイド/UDCast方式上映)

バリアフリー上映とは、視覚・聴覚など身体に障害のあるかたとも一緒に楽しめる上映会です。字幕・音声ガイドあり。車椅子対応。

8年越しの花嫁 奇跡の実話

多 7.20(金) 14:00



©2017映画「8年越しの花嫁」製作委員会

結婚式の直前、意識不明となった花嫁を、新郎は待ち続けた一。

結婚を約束している尚志と麻衣。結婚式の3カ月前、突然の病魔が麻衣を襲い、昏睡状態に陥ってしまう。尚志の懸命な看病により、麻衣は一命を取り留めるが、記憶障害により尚志との記憶だけを失っていた…。

1 2017年 2 日本 3 119分 4 瀬々敬久

MOVIX川口での上映決定!

同時開催会場のMOVIX川口では、オープニング作品と国際コンペティション作品がご覧いただけます。仕事帰りにもぜひ映画祭をお楽しみください。



JR川口駅東口 ⇄ SKIPシティ
SR鳩ヶ谷駅西口
映画祭期間中、無料直行バス運行!

※時刻表は配布中の「上映スケジュール」または映画祭公式ホームページをご確認ください。

※SR鳩ヶ谷駅西口⇄SKIPシティは土・日曜、祝日のみ

※駐車場あり(上映会場にて駐車券と上映チケットの提示で駐車料金無料)

問い合わせ…SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局
川口市上青木3-12-63 5F www.skipcity-dcf.jp
☎048-263-0818
FAX 048-262-5635
Dシネマ 検索